



自治会活動は無理ゲー？

あすと長町 から

新たな地域運営 を考える

セッション 防災と自治

地域課題や、課題だと思ふ種を持ち寄り  
解決へ向けた連携が生まれる場

2024

8.22 thu 19:00~20:30

会場：仙台市市民活動サポートセンター  
6階セミナーホール又はオンライン

平時の繋がり、有事の際の備えとしても重要ですが、これまで身近な共助の輪であった自治組織は、高齢化や担い手不足により十分な共助の体制を取れずにいます。また、ライフスタイルの多様化や、仙台市においては転勤者や入学者も多いことから、地縁、血縁とは縁遠い人も多くいます。

今回は、あすと長町を拠点に「新しい地域運営」を推進するゲストのお話から、多種多様なコミュニティづくりについて皆さんと考えます。

対象：町内会、商店街、NPO、大学、企業など地域課題解決に取り組む多様な主体。テーマに関心のある市民

定員：20名（Zoom会場は定員制限なし）/参加無料  
共催：せんだい・みやぎソーシャルハブ  
仙台市市民活動サポートセンター

お問合せ

仙台市市民活動サポートセンター  
（指定管理者：NPO法人せんだい・みやぎNPOセンター）  
仙台市青葉区一番町4-1-3 / TEL 022-212-3010

情報提供者

認定NPO法人つながりデザインセンター  
副代表理事

新井 信幸 さん



東日本大震災後の仮設住宅、災害公営住宅の居住者に対し、地域のNPO、大学研究室等と連携・協力して、新たなコミュニティ支援を行っています。地域におけるヒト・モノ・コトのゆるやかなつながりをデザインし、一人ひとりが主役になれる住まい・まちづくりに取り組んでいます。

お申込みフォームはこちら。  
お申し込み後 Zoom アドレスをお知らせします。



まちのこれからを  
ともに考え ともにつくる

せんだい・みやぎソーシャルハブは、市民目線で発掘された社会課題に対し、NPO、行政、企業、志のある個人など多様な主体が力を合わせ、課題解決のために力を発揮する環境をつくることを目的としたプロジェクトです。NPO法人せんだい・みやぎNPOセンター、一般社団法人パーソナルサポートセンター、NPO法人都市デザインワークスの3団体が連携して運営しています。